

取扱説明書

マルチシンク液晶ディスプレイ

MultiSync[®] LCD-EA272Q, LCD-EA272Q-BK LCD-EA272U, LCD-EA272U-BK

MODEL: DD-EA272Q, DD-EA272QW, DD-EA272U, DD-EA272UW 各規格認証は上記のいずれかで取得しています。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用の前に「安全にお使いいただくために」(4ページ)を必ずお読みください。

もくじ

ご使用の前に	3
安全にお使いいただくために	4
重要なお知らせ	9
推奨使用方法	10
商標・ライセンスについて	10
付属品を確認する	11
設置する	11
台座の付けかた	11
角度と高さの調節	12
スタンドの外しかた	12
各部の名称と機器の接続	13
電源の接続	
ケーブルホルダーの使い方	20
縦型で使用する場合	

電源の入/切	22
電源を入れる	22
各種設定メニュー	24
メニューの基本操作	24
メニュー項目の詳細	25
USB LAN 機能	34
DP OUT MULTISTREAM 機能	35
人感センサー機能	37
オートブライトネス機能	38
故障かな?と思ったら	39
仕様	45
アフターサービスについて	49

ご使用の前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的 としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用され ると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI – B

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品 _____

ご注意 建物に設置された配電盤は 100 V 最大 20 A の回路遮断装置を備えていることを確認してください。

ご注意

添付のケーブルを使用してください。

HDMI 入力端子、DisplayPort 入力端子、USB 端子、USB Type-C 端子はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイ プのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。 _____

通信回線に接続するときのご注意

本機は法令上、電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど)の通信回線(公衆無線 LAN を含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接 続してください。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合して います。



JISC 0950(通称 J-Moss)とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工 業規格です。特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有状況により、 次の2種類の表示マークがあります。

特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク ・含有マーク:
 ・グリーンマー 同化学物質が含有率基準値以下(但し除外項目あり)である製品にメーカーが任意で 表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<u>https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/j-moss.html</u> をご覧ください。

お知らせ液晶ディスプレイに関するご注意

- TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する 画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも 本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐 々に軽減されます。
- _____ ■ 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「保証書」・「セットアップマニュアル」は大切に保管してください。
- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。 (4) 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- (5)本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
 (6)本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項および(4)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



図記号の意味は次のとおりです。

\triangle	この記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。
\bigcirc	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

	▲ 警告
フラグを抜く	下記の場合、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合 販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
分解禁止	裏ぶたを外さない、修理・改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。 修理は販売店にご相談ください。
使用禁止	ぐらついたり、スタンドにひびがある場合は近づかない 本機が転倒してけがの原因となります。お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。
電源コードにな	סוול
○ 禁止	 電源コードを傷つけない、加工しない ・電源コードを本機や重い物の下敷きにしない。 ・電源コードを敷物などで覆わない。 ・電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない。 ・電源コードを加熱しない。電源コードが破損すると、火災・感電の原因となります。 破損した場合(芯線の露出・断線など)は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に交換をご 依頼ください。
没 接触禁止	雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない 感電の原因となります。
のれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
り指示	電源コードは添付のものを使用する 添付の電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。
日本	正しい電源電圧で使用する 添付の電源コードはAC100V·日本国内専用です。 指定の電源電圧以外で使用すると火災·感電の原因となります。
○ 禁止	アース線を電源コンセントに挿入・接触させない 火災・感電の原因となります。
ノーフ アース線を 接続せよ	 アースに接続する 本機はアース線つき2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。 アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

	▲ 警告
した	 設置するときに気を付けること 本機はスタンドなどの取り付け器具なしで設置、運用することはできません。 移動や設置の際は十分な安全を確保できる人数で作業してください。落下してけがの原因となることがあります。 布などで通風孔をふさがないでください。風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。 以下の場所に設置しないでください。 狭い場所や換気の悪い場所 直射日光のあたる所や熱器具のそば 振動の多い所 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する所 屋外 温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい所 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。 取扱説明書が記載する設置方法で使用してください。設置する際は製品仕様のチルト角度を確認してください。
した	 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどを軽減するために、転倒・落下防止対策を講じる 取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。 固定しないと転倒してけがの原因となることがあります。 ・市販のアームまたはスタンドを取り付ける際は、本機を支えるのに十分なものを使用する。 アームまたはスタンドを取り付ける際は、本機を支えるのに十分なものを使用する。 ・アームまたはスタンドを取り付ける際は、本機を支えるのに十分なものを使用する。 ・アームまたはスタンドを取り付ける際は、指定のネジを使用し、しっかり締める。 液晶ディスブレイの転倒または落下の原因となることがあります。 ・ネジのゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締める。(98 ~ 137N・cm が適切な締付トルクです。) 液晶ディスブレイの表示部を下にして置いたまま固定できないときは、2 人以上で取り付ける。落下してけがの原因となることがあります。 安定性と危険について 本機が落下すると重大事故の原因となることがあります。けがなどを軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、床や壁に確実に取り付けてください。特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。 ・推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付ける。 本機がはみださない大きさの什器に設置する。 本機に支続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線する。 本機を背の高い什器に設置する場合は、本機と什器、什器と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定する。 本機の下に市などを敷がない。 本機や設置している件器のした。 本機や設置している件器のした。 本機や設置している合は、本機と行き、たちての(玩具やりモコンなど)は置かない。 高所への設置の際は、市販の壁掛け金具を使う。スタンドを使用した状態で高所への設置はおやめください。
人 禁止	ぐらつく台の上や、傾斜面、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
○ 禁止	異物をいれない 火災・感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。 異物が本機の中に入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼く ださい。
水ぬれ禁止	水のかかるところに置かない 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販 売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。 エアコン等水を排出する機器にも注意してください。





清掃時に可燃性ガスのスプレーを使用しない

火災の原因となります。

生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

▲ 注意		
電源コードに		
日本	電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する	
しっかり 差し込む	電源フラグを奥までさしこむ 電源コードが容易に抜けるのを防止する 差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電 の原因となります。	
日本	 火災や感電を防ぐために、次のことを守る ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 ・お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 ・電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、 使用をやめる。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。 	
した取る	電源プラグのほこりなどは定期的に取る 火災·感電の原因となることがあります。	
日本	電源コードやケーブル類を抜いてから移動する コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災 や感電の原因となることがあります。	
公 禁止	電源コードは、タコ足配線しない タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。	
り 振	建物に設置された配電盤は100 V 最大20 A の回路遮断装置を備えていることを確認してください。	
秋	電源コードおよびUSBケーブルは束ねない(丸めない) ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。	
公 禁止	過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない 本機の LAN 端子は、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN 端子に過電圧が加わる と、感電の原因となることがあります。	
○ 禁止	本機を設置している台には乗らない 本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。 キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。	

	▲ 注意
日前	 スタンドの取り付けや取り外し、調節をする場合 スタンド調節時または市販のアーム取り付け時に手や指をはさまないよう注意する。けがの原因となることがあります。 スタンドのネジを取り外す時は、必ず手でスタンドを持つ。 スタンドが落下して、けがの原因となることがあります。 台座をスタンドアームから取り外す時は、必ず台座を持つ。台座が落下してけがの原因となることがあります。 本機を回転させる場合は必ず電源コード、信号ケーブルを外す。 ケーブルを外さずに回転すると、ケーブル類が引っ張られけがの原因となることがあります。 本機を回転する場合は、必ず本機を一番高い位置までスライドし、画面を上方に傾ける。 低い位置のまま回転すると、指を挟むなど、けがの原因となることがあります。また、机にぶつけるなど、事故の原因となることがあります。
人 禁止	本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がらない 硬いものでこすったり、たたいたりしない 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。
日本	市販のアームを取り付ける場合 市販のアームを使用する際には、製品仕様のチルト角度を確認してください。下方向に5 度を超える傾きで設置し ないでく ださい。液晶パネルが落下し、けがの原因となることがあります。
● 禁止	画面に衝撃を加えない 先のとがった物で押さない 破損してけがや故障の原因となることがあります。
公 禁止	本機の温度が高くなる部分に長時間触れない 低温やけどの原因となることがあります。
日本	適度な明るさの環境で使用する 画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。
人	ヘッドホンを装着したまま接続しない 音量によっては耳を傷める原因となることがあります。
秋	ポリ袋で遊ばない 本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。特にお子様にご注意ください。
通風孔の清掃	通風孔を掃除する 通風孔がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。月に一度は通風孔 に付着したごみやほこりを取り除いてください。
内部清掃	1年に一度は内部掃除を 内部にほこりがたまったまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店 にご依頼ください。
日本	 温度や湿度が急激に変化する環境での使用や保管は避ける 以下の使用環境・保管環境を守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。 使用環境温度:5~35℃/湿度:20~80%(結露のないこと) 保管環境温度:-20~60℃/湿度:10~85%(結露のないこと)
日本	電源コードについて AC 200 V (50/60Hz)のコンセントでお使いになる場合は、専用の 電源コードが必要です。販売店にお問い合わせください。 専用の電源コードをお使いになるときは、3 芯コンセントに直接接続し、 機器のアースを確実に接続してください。2 芯プラグへの変換アダプター は使用しないでください。アースが接続できない場合は、専門の工事業 者にご相談ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。

	使用上のご注意		
日内専用	本製品は日本国内用として製造・販売しています。 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。 This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.		
日本	 キャビネットのお手入れ お手入れの際は電源プラグを抜いてください。 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。 ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。 		
 画面のお手入 画面にほこり 画面の汚れ を繰り返し値 画面は傷つっ 画面は触指 	れ つがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ(除じん用ブラシ)をお使いください。 は、乾いたきれいな布で軽くふき取ってください。しめった布や化学ぞうきんでふき取らないでください。また、同じ布 使用しないでください。 きやすいので、硬いもので押したりこすったりしないように注意してください。 などにより汚れることのないように注意してください。		
上手な見方 明るすぎる部 また、連続して	室は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。 「長い時間、画面を見ていると目が疲れます。		
部品寿命によ 保証書に明記 討をお願いし	る影響 されている保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検 ます。		

電磁波妨害に注意してください

本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ静止面を表示したり、高速に微動や点滅が繰り返される映像を表示すると画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。液晶ディスプレイの特性のため故障ではありません。残像を軽減する方法として、コンピューターのパワーマネージメント機能やスクリーンセーバーなどを使用し、画面表示を変えることをおすすめします。 以下に注意してご使用ください。

以下に注意してこしていい。

- ・ 高速に微動や点滅が繰り返される映像を表示しない。
- 同一の静止画を長時間表示し続けない。

画面の明るさについて

本製品は電力を低減するために出荷時、DV MODE が 「DYNAMIC」に設定されています。表示内容によって画 面の明るさが自動で調節されるため、表示画像によって は暗く表示されることがあります。そのような場合には DV MODE の設定を「スタンダード」に変更してください。 ただし、その場合には消費電力が増加することがあります。



推奨使用方法

液晶ディスプレイを正しい位置に置いて正しく調節することで、目、肩および首の疲労を軽減することができます。液晶ディ スプレイの前にすわる際には以下の点を確認してください。

- ・ 最適な性能を得るためには、ウォームアップのため20分間の余裕をもたせるようにしてく ださい。
- ・ 画面の上部が目線か目線より少し下にくるようにディスプレイの高さを調節します。画面 の中央を見たときに、目線がわずかに下がるようにします。
- ・ディスプレイは、目の位置から40センチ以上離し、また70センチ以上離れない位置に設置します。目からディスプレイまでの最適な距離は50センチです。
- ・ 連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れたり視力が低下することがあります。1時間 ごとに5分から10分の休憩を取り、6メートル以上離れたものを見るなどして目を休ませ てください。また、疲れを感じた場合は目を休ませてください。



- ・ 画面のぎらつきや反射を最小限に抑えるため、窓などの光源に対して90度になるように
 ディスプレイを設置します。天井の照明が画面上に反射しないよう、ディスプレイの傾きを調節します。
 ・ 光の反射で画面が見にくい場合には、ぎらつき防止フィルターを使用してください。
- ほこりの付かない表面の滑らかな布を使ってディスプレイの表面を拭いてください。クリーニング溶剤もしくはガラスクリーナーの使用は避けてください。
- ・ 画面が見やすくなるよう、ディスプレイの輝度およびコントラスト制御を調節します。
- ・ 文書フォルダーは画面の近くに置いて使用してください。
- ・より頻繁に見るもの(画面もしくは参照資料)が直接目の前にくるように配置することで、キーボード入力中の頭の動きを最 小限に抑えることができます。
- ・ 画面の焼き付き(残像現象)を防止するため、長時間にわたって固定したパターンを表示することは避けてください。
- ・ 時々、まばたきをするようにしてください。眼精疲労を予防する眼球体操などを心がけてください。詳細は眼科医にご相談 ください。定期的に眼科検診を受けてください。

お知らせ

人間工学上の利点を最大限に発揮させるため、以下を推奨します。

- 標準信号を用いて、プリセットされた画面サイズ・位置にて使用してください。
- あらかじめ設定されている色を使用してください。
- ノンインターレース信号にて使用してください。
- 暗い背景上の青の原色表示は見にくく、またコントラスト不足による目の疲労を引き起こすおそれがあるため、使用はお控え ください。

商標・ライセンスについて

MultiSync[®]は、シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。 DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Associationの米国その他の国における商標です。 HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMIのトレードドレスおよび HDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。 USB Type-C[®] および USB-C[®] は USB インプリメンターズ・フォーラムの登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。



付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

ロ 本体: 1 台 ロ ベーススタンド: 1 個

ロ セットアップマニュアル:1 部

ロ ケーブルホルダー:1個 ロ 電源コード(A ロ 信号ケーブル(USB-Cケーブル):1本 ロ 保証書:1部

□ 電源コード(AC100V 用・約 1.8 m):1本 □ 保証書:1部

※ AC 200 V(50/60Hz)のコンセントでお使いになる場合は、専用の電源コードが必要です。販売店にお問い合わせください。

設置する

台座の付けかた

1. 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置く

ご注意

液晶パネルを下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。 また、突起など無い事を確認し表示部を傷つけないように注意してください。

2. 図のようにスタンドアームを90度回転させる





再梱包する場合は、逆の手順で梱包します。



90

ご参考

台座底面部にある↑を右図のように手前に向けて設置してください。 ↑の位置がずれていると、左右均等にスイーベルしなくなります。



設置する

角度と高さの調節

お好みに合わせて本機の高さと角度を調節してください。 図のように見やすい高さおよび角度に調節します。



スタンドの外しかた

- 1. 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、電源コード、信号ケーブルを取り外す
- 2. 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示画面を下向きにして置く
- 3. 図のように固定用ボタンを押しながらスタンドを持ち上げて取り外す



ご注意

- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順です。
- スタンドの取り付けはお客様の責任となります。万一事故が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。

■前面



■後面





9 HDMI 入力端子

HDMI ケーブルでデジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。(16ページ)

① DisplayPort 入力端子

DisplayPort ケーブルでデジタル映像インターフェースの DisplayPort 規格に準拠した機器と接続します。 (16ページ)

1 DisplayPort 出力端子

DisplayPort ケーブルで DisplayPort 規格に準拠した表示機器と接続します。

🕑 USB Type-C (アップストリーム) 端子

USB Type-C[®] ケーブルでデジタル映像インターフェ ースの USB Type-C 規格に準拠した機器と接続します。 (17 ページ) 接続する機器により給電ができます。 詳細は「製品仕様 (ページ 46)」を参照ください。

B USB Type-B 端子

コンピューター接続用の USB 端子です。(17ページ)

🚹 LAN 端子

USB-LAN 変換機能を内蔵しています。 コンピューターから USB を経由して LAN に接続すること ができます。

ご参考

LANケーブルを接続しているとLEDが点灯します。
 接続時:緑色のLEDが点灯します。
 通信時:橙色のLEDが点滅します。

① USB Type-A 端子

USB 機器を接続します。(17ページ)

16 ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。 ヘッドホンを接続している場合、スピーカーから音は出ま せん*。(18ページ)

🚺 USB Type-C (ダウンストリーム)端子 *

USB Type-C[®] ケーブルでデジタル映像インターフェー スの USB Type-C 規格に準拠したマウス、キーボード、 USB メモリーなどの USB 機器と接続します。 USB-C ケーブルを接続する際は、端子形状が合っているこ とを確認してください。USB Type-C[®]端子を電源に使用 する場合は、3A 対応の USB ケーブルを使用してください。 [USB 機能]を「90W」に設定している場合、電源供給は 5V/ 3A から 5V/0.9A に制限されます。(17 ページ)

1 USB Type-A 端子 *

USB 機器を接続します。

- 19 セキュリティースロット
- 20 ラベル
- 2 スピーカー*
- 22 通風孔
- *: EA272Uのみ

信号ケーブルを接続する

画面を一番高い位置までスライドさせ、上方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単です。

ご注意

- ・ コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- ・ 本機または外部機器の電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しをしないでください。
- ・ USB-Cケーブルは付属品をご使用ください。



* 接続する USB Type-C 機器が DisplayPort Alt Mode on USB Type-C 規格に対応している場合に動作します。対応していない場合は、 USB ハブとして使用できます。

ご注意

添付のケーブルを使用してください。

HDMI入力端子、DisplayPort入力端子、USB 端子、USB Type-C 端子はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

ご参考

- ・ 市販の変換アダプターやケーブルをご使用の際は接続されるコンピューターのコネクター形状にあったものをお買い求めください。
- ・ ケーブル類は端子の向きを確認してつないでください。
- ・ HDMI、DisplayPort、USB 規格に準拠した機器およびケーブルを接続してください。
- ・ USB メモリーは必要に応じてウィルスチェックを実施してください。

ケーブル接続後、高さと角度を調節する(11ページ)を参照し画面の位置を調節をしてください。

■デジタル映像信号

- HDMI コンピューターやストリーミングメディアプレーヤー、Blu-ray プレーヤー、ゲーム機器などとの接続に用いられる 高精細デジタル映像で、音声信号を含みます。
- ・ DisplayPort コンピューターとの接続に用いられる高精細デジタル映像で、音声信号を含みます。
- USB Type-C (アップストリーム) 高解像度デジタル ビデオ/オーディオ信号の DisplayPort 入力 (USB Type-C の DisplayPort Alt Mode のみ)のコンピューターへの接続をサポートします。このディスプレイは、MHLや HDMI などの他 のUSB Type-C Alt Mode はサポートしていません。この端子は、マウス、キーボード、USB メモリーなどの USB 機器で使 用するためのものではありません。

HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。

HDCP に対応した映像機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。 HDCP は、Digital Content Protection, LLC によって策定・管理されています。

HDCP の規格が変更された場合、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

■HDMI出力端子のある機器との接続

本機は HDMI 出力付きプレーヤーやコンピューターなどと接続して使用することができます。詳しくは、プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。

- HDMI ケーブルはHDMIロゴがある HighSpeed 対応ケーブルをご使用ください。
- HDMI 機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の電源を入れると映像が表示されないことがあります。
 その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

■DisplayPort出力端子のある機器との接続

本機は DisplayPort 出力付きコンピューターなどと接続して使用することができます。

詳しくは各コンピューターの取扱説明書を参照してください。

- DisplayPort ケーブルは DisplayPort 認証ロゴがついているものを使用することを推奨します。
- コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- DisplayPort ケーブルはロック付きのものがあります。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクター上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- ・ 信号変換アダプターを使用した機器からの信号を DisplayPort に接続しても映像が表示されない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の電源を入れると映像が表示されないことがあります。
 その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。
- DisplayPort 入力端子から入力された映像信号は本機の DisplayPort 出力端子から出力されます。

■USB Type-C (アップストリーム)でコンピューターに接続する

- ビデオ/オーディオ伝送に USB Type-C (アップストリーム)端子を使用する場合は、USB対応ロゴが付いている SuperSpeed USBケーブルを使用してください。
- HighSpeed USB (USB 2.0) ケーブルまたは充電ケーブルは、ビデオ/オーディオ伝送をサポートしていません。
- ビデオ/オーディオ伝送に USB Type-C (アップストリーム)端子を使用する場合は、DisplayPort Alt Mode対応のコンピュ ーターポートを使用してください。
- HDMI Alt ModeまたはMHLはサポートされていません。
- コンピューターのバッテリー充電 (USB Power Delivery) を使用する場合は、USB Power Deliveryに対応したコンピュ ーターとケーブルを使用してください。
- 本機がコンピューターに認識されるまで数秒かかる場合があります。信号が認識されるまで、USBケーブルを抜き差ししないでください。
- USB Type-C (アップストリーム) 端子から入力された映像信号は本機の DisplayPort 出力端子から出力されます。

ご注意 付属品以外の USB-C ケーブルでは機能・性能が発揮されない場合があります。

■USB機器の接続について

本機は、下記の USB 端子を装備しています。

アップストリーム USB Type-C/1 端子

USB Type-B/1 端子

ダウンストリーム USB Type-A/2 端子 (EA272Q) 3 端子 (EA272U) USB Type-C/1 端子 (EA272U)

- 添付の USB-C ケーブルで USB-C 対応のコンピューターと接続します。USB-C 未対応の場合は、市販の USB-C と USB 変換ケー ブルをご使用ください。
- マウスやキーボードなど USB 機器のケーブルを接続します。 (→ 14 ページ)

ご注意

市販されているすべての USB 機器の動作を保証するものではありません。

ご参考

 本機は SuperSpeed USB 5Gbps に対応しています。USB 2.0 または USB 1.1 で接続した場合の最大転送速度は、 それぞれの規格値となります。

「USB 機能」を「AUTO」、「オン」、「90W」のいずれかに設定してください。「90W」に設定した場合、機能制限があります。詳細は「USB 機能」(30ページ)を参照ください。
 USB ハブの接続がコンピューター側で検出され、USB ハブ用のデバイスドライバーと USB モニター制御のデバイスドライバーが自動的にインストールされます。
 コンピューターによっては、接続しても USB ハブと検出されない場合があります。その場合は画面に表示されるメッセージに従って、USB ハブ用のデバイスドライバーをインストールしてください。

- 「USB 機能」は使用するコンピューターの BIOS や OS、周辺機器によっては動作しない場合があります。この場合は、まず 各使用機器の取扱説明書を確認したり、各機器のメーカーにお問い合わせください。
- ・ 以下の場合は事前に本機に接続した USB 機器を停止させて取り外してください。一部の USB 機器の場合、機器の破損や データの消失の原因になる場合があります。
 - ・ 本機の電源をオフにする場合
 - 本機に接続したコンピューターの電源をオフする場合
- 本機がコンピューターに認識されるまでに数秒程度必要です。認識される前にUSBケーブルを引き抜いたり、瞬間的な抜き 差しを繰り返したりしないでください。
- ・ ダウンストリーム端子への電源供給 (Power Delivery) は [USB 機能」 (30ページ) で設定できます。

■ヘッドホンの接続

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

お知らせ

- 液晶ディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らない ときは、市販の「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。(EA272Uのみ)

電源の接続

1. 電源コードの一方の端を、本機の電源接続端子に差し込む

ご注意

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。
- 奥までしっかりと差し込んでください。
- 本機の角度を変えても、電源コードが外れないことを確認してください。

2. アース線をアースに接続する

3. 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する

ご参考

- ・ 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
- AC 200 V(50/60Hz)のコンセントでお使いになる場合は、専用の電源コードが必要です。販売店にお問い合わせください。



ケーブルホルダーの使い方

1. ケーブルホルダーをスタンドアームに取り付ける

2. 電源コード、信号ケーブル、USB ケーブルをケーブルホルダー内に収める

※ケーブルマネージメントをご使用にならない場合はこれらの作業は不要です。

ご注意

- ケーブル類はケーブルホルダーに確実に入れ、また均等に収めるようにしてください。
- 画面を前後に動かし、ケーブル類に十分な余裕があることを確認してください。
- 図を参考にして、ケーブル類のたわみが十分にあることを確認してください。ケーブル類のたわみが不十分な場合は、ケーブルの断線などが発生する原因となります。



縦型で使用する場合

- 1. 本機を一番高い位置までスライドし、本機のチルトの角度を最大にする
- 2. 本機の両端をしっかり持ち、回転させる



本機のピボット角度は図の通りです。



ケーブルホルダーの使い方

ご注意

図を参考に、信号ケーブルに十分なたわみがあることを確認してください。 信号ケーブルの断線等の原因となります。

ご参考

- 縦型表示を実現するためには、縦型表示に対応しているビデオカードが必要です。
- 本機を縦型に回転してもOSD 画面は自動的に縦型表示にはなりません。 「OSD 方向」(31ページ)にて設定してください。



電源の入/切

電源を入れる

1. 本機の電源をいれる。



2. コンピューターの電源を入れる。

本機の電源ランプが点灯します。



■本機の状態と電源ランプ

電源ランプ	状態	消費電力(標準値)
青色点灯*1	最大動作時	143 W(EA272Q) / 155 W(EA272U)
青色点灯*1	通常動作時	27 W(EA272Q) / 31 W(EA272U)
橙色点灯	スタンバイモード時	0.5 W(EA272Q / EA272U)* ²
点灯なし	電源オフ時	0.3 W(EA272Q / EA272U)* ²

*1「LED ブライトネス」調節機能(29ページ)で輝度を下げている時は、点灯しない場合があります。

*2 OSD の設定や接続している USB 機器により消費電力は変わります。

ご参考

- ・ キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かすと画面が復帰します。画面が復帰しない場合は、信号ケーブルの接続や コンピューターの電源状態をご確認ください。
- 電源ランプが消灯している場合、「POWER SAVE TIMER」(29ページ)が作動していることが考えられます。
 POWER キーをタッチしてください。

■起動後の初期設定



USB 機能の初期設定について

本機は電力削減のため、工場出荷時およびオールリセットをかけた場合は USB Hub/Type-C 機能 /OSD メニューの「USB LAN」 が使えません。

最初に電源を入れた時およびオールリセットをかけた後に電源を入れなおすと、USB 機能メッセージが表示されます。

<>キーで以下から選択し、MENU/EXIT キーをタッチして決定してください。LAN 端子を使用するには、OSD メニューの「USB LAN」にて設定の変更が必要です。

- オフ: 引き続き USB 機能が使えません。
- AUTO: ディスプレイの電源がオンの際、USB 機能が使えます。
- オン: ディスプレイの電源がオフでも USB 機能が使えます。

90W: ディスプレイの電源がオフでも USB 機能が使えます。本機内部の電力配分を変えて、USB Type-C (アップストリーム) 端子を主な電力供給先にします。「90W」に設定した場合、機能制限があります。詳細は「USB 機能」(30 ページ) を参照ください。

この初期設定後も、OSD メニューで設定が変更できます。

■自動入力選択機能(3系統入力時)

ビデオ信号の入力の有無によって入力を切り替える機能です。

現在表示中のコンピューターの電源が切れると、INPUT/SELECT キーをタッチしなくても自動的にビデオ信号のある他のコンピューター画面に切り替わります。

ご参考

VIDEO DETECT(29ページ)をNONE に設定している場合、自動入力選択機能は動作しません。

メニューの基本操作



● 照度センサー / 人感センサー

照度センサー

周囲の明るさを検知するセンサーです。 「OFF MODE SETTING」機能(26 ページ)と「オート ブライトネス」機能(26 ページ)使用時に作動します。 「OFF MODE SETTING」機能と「オートブライトネス」機 能使用時には障害物の陰にならないよう注意してください。

人感センサー

本機の正面に在席していることを検知するセンサーです。 人感センサー機能(37ページ)使用時に作動します。 人感センサー機能使用時には障害物の陰にならないよう注 意してください。

INPUT/SELECT*1 #-

OSD 画面が表示されていない場合

- 入力切替メニューを表示します。(図1)
 白色で表示されている入力から、<または>キ ーで入力を設定します。
 - 入力は以下の色で表示されます。 黄色:選択している入力
 - 白色:選択可能な入力
 - 灰色:選択できない入力

	EXIT	USB-C	DP	HDMI					
INPUT	MENU	<	>	~	^	ECO	Ģ	0	
				図]					

ご参考

「VIDEO DETECT」を「FIRST」に設定した場合、信号入力のある端子に入力を自動的に切り替えます。

• 3 秒以上タッチすると「L/B」(ブルーライト低減モード) に切り替わります。(28ページ)

OSD 画面が表示されている場合

選択した項目を決定します。

OSD 画面が表示されていない場合

OSD 画面を表示します。3秒以上タッチし続けると 「CUSTOMIZE SETTING」が記憶した設定を復元す ることができます。

OSD 画面が表示されている場合

OSD 画面を消します。OSD 画面を操作しているときに タッチすると、1 つ上の画面に戻ります。

OSD 画面が表示されていない場合

「ホットキー」(32ページ)が「オン」に設定されてい るときに、▲で「ブライトネス」▼で「音量」>で「USB SELECTION」の OSD 画面が表示されます。

OSD 画面が表示されている場合 OSD 画面の操作をします。

USD 画面の操作をします。

5 ECO +- /RESET*1 +-

OSD 画面が表示されていない場合

- 「ホットキー」(32ページ)が「オン」に設定されてい
- るときに、以下の機能を使用できます。
 「ECO MODE」を切り替えます(「オフ」、「1」、「2」) (26ページ)。画面右上に現在の状態が表示されます。

OSD 画面が表示されている場合

表示されているグループアイコンのサブメニュー全体、または各調節項目のリセット画面が表示されます。 リセットする場合は、画面の表示に従って INPUT/ SELECT キーをタッチしてください。

*¹ OSD 画面で「KEY GUIDE」(32 ページ)をオンにした際、画面上に表 示されます。

*² [OSD 方向」(31 ページ)の設定によって、く、>、∨、ヘキーに表示さ れる各キーガイド「LEFT」/「RIGHT」/「DOWN」/「UP」は替わります。

ご参考

各キーによる詳しい OSD 画面の操作については"各種設定メニ ューの操作例"(25ページ)をご覧ください。

6 Ů(POWER) キー

電源をオン/オフするときにタッチします。

ご注意

電源を短時間のうちに頻繁にオン/オフしないでください。故障の原因となることがあります。

ご参考

本機は入力信号がない状態が2時間以上継続すると自動的に電源をオフにする「POWER SAVE TIMER」機能(29ページ)があります。

7 電源ランプ

電源を入れたとき、青色に点灯します。パワーマネージメント機能の作動中は、橙色に点灯します。(22ページ) 電源を入れても電源ランプが点灯しない場合は、「LED ブラ イトネス」調節機能(29ページ)で輝度を下げていない か確認してください。

■操作例

本機は前面タッチキーを操作して、OSD(On Screen Display)に表示される項目を調節できます。 ブライトネスを調節する。

- 1. MENU/EXIT キーをタッチし、OSD画面を表示する
- 2. NPUT/SELECT キーをタッチし、調節項目に入る
- 3. <または>キーでブライトネスを調節する

4. MENU/EXIT キーをタッチし選択項目画面に戻り、再度 MENU/EXIT キーをタッチし OSD 画面を消す

以上でブライトネスの調節は完了です。



メニュー項目の詳細

OSD 画面の構成は、以下のとおりです。



■<mark>渁</mark> ECO 機能

ECO 機能	
ブライトネス	調節バー(0.0% ~ 100.0%)が表示されます。 く> キーをタッチして、画面をお好みの明るさに調節してください。
コントラスト	調節バー(0.0%~100.0%)が表示されます。 <> キーをタッチして、画面をお好みの コントラストに調節してください。 ご参考 ・ カラー調節のプリセットが「L/B」 に設定されている場合、コントラストは変更できません。
ECO MODE	 ブライトネスの最大値を制限することで電源消費量を削減することができます。 オフ:最大値を 100% に設定します。 1:ブライトネスの最大値を 50%(EA272Q/EA272U) に設定します。 2:ブライトネスの最大値を 20%(EA272Q/EA272U) に設定します。 ご参考 ・ DV MODEがDYNAMIC に設定されている場合は、ECO MODEはオフとなり変更できません。 ・ カラー調節のプリセットがD(DICOM SIM.)に設定されている場合は、ECO MODEはオフとなり変更できません。
オートブライトネス	 画面の明るさを自動的に調節します。 オフ:明るさの自動調節機能は作動しません。 オン:オートブライトネス機能(38ページ)を使用して、室内の明るさに応じて画面の明るさを調節します。 ご参考 ・ DV MODEがDYNAMIC に設定されている場合は、オートブライトネスはオフとなり変更できません。 ・ カラー調節のプリセットがD(DICOM SIM.)に設定されている場合は、オートブライトネスはオフとなり変更できません。
BLACK LEVEL	黒輝度を 0.0% ~ 100.0% の範囲で手動設定します。
OFF MODE SETTING	パワーセーブモードを選択します。 オフ: 輝度センサーによるパワーセーブモードに移行する機能は作動しません。 オン: 周囲の明るさが設定値よりも暗くなるとパワーセーブモードに移行します。 周囲の明るさが設定値よりも明るくなると、自動的にパワーセーブモードから 復帰します。 周りの明るさに関係なくパワーセーブモードから復帰させるには、本体正面の MENU/EXIT キーをタッチするか、 く> キーまたは へ∨ キーをタッチしてく ださい。 ご参考 ・ オンを選択した場合、パワーセーブモードに移行する時の明るさは、OFF MODE SETTING のSENSOR SETTING で設定します。また、パワーセーブモードに移行する までの時間はOFF MODE SETTINGのSTART TIMEで設定します。
SENSOR SETTING	UFF MUDE SETTING で SENSOR を選択したときに、バワーセーフモードに移行する周囲の明るさを設定します。調節バー (0.0% ~ 100.0%) が表示されます。 く> キーをタッチして、周囲の明るさの設定を調節してください。また、調節バーの下には、現在の周囲の明るさが表示されます。
START TIME	OFF MODE SETTING で SENSOR を選択したときに、パワーセーブモードに移行するために必要な時間(秒)を設定します。調節バー(1秒~255秒)が表示されます。 く>キーをタッチして、時間を調節してください。

各種設定メニュー

ECO 機能	
HUMAN SENSING	人感センサーによるパワーセーブモードを選択します。 オフ: 人感センサー機能を使用しません。 1 (LIGHT): 人感センサーが離席を感知すると、画面の明るさを最小限にします。席に戻っ たことを感知すると、自動的に元の画面の明るさに戻します。 2 (DEEP): 人感センサーが離席を感知すると、パワーセーブモードに移行します(画面が 消えます)。席に戻ったことを感知すると、自動的にパワーセーブモードから 復帰します。
	 人感センサーが離席を感知すると、パワーセーブモードに移行する前に警告画面が表示されます。警告画面の表示は、SENSOR INFORMATION(32ページ)で設定できます。 人感センサーの感度はHUMAN SENSINGのSENSOR SETTINGで設定します。 また人感センサーが離席を感知してからパワーセーブモードに移行するまでの時間は、 HUMAN SENSINGのSTART TIME で設定します。
SENSOR SETTING	 人感センサーで離席を感知する感度を設定します。人型のアイコンが調節バーにて調節される検出範囲より右側にある場合に、離席を感知します。(人型のアイコンはディスプレイの現在の感知状況を表示しています。) <> キーをタッチして、感度を調節してください。 ご参考 ・ OSD 画面が表示されている状態では、人感センサー機能は動作しません。 ・ 人感センサーは、画面から約1.5m 以内の人の動きを感知します。 ・ 感度は、服の色や着座位置によって変化する場合があります。
START TIME	人感センサーが離席を感知してからパワーセーブモードに移行するまでの時間(秒)を設定します。調節バー(1 秒~ 255 秒)が表示されます。 く> キーをタッチして、時間を調節してください。
DV MODE (Dynamic Visual Mode)	DV MODE をお好みに応じて切り替えます。 スタンダード:標準の設定です。 テキスト: 中間階調にメリハリをつけ、文字やラインをくっきり見せる通常のワープロや表計算ソフト等に適した設定です。 ムービー: 暗いシーンの階調表現力を引き上げ、奥行き感を再現する映画に適した設定です。 ゲーム: 全体の明るさを引き上げ、より迫力ある画像を提供するゲームに適した設定です。 ブォト: 白黒にメリハリをつけた、自然画、静止画に適した設定です。 フォト: 白黒にメリハリをつけた、自然画、静止画に適した設定です。 DYNAMIC: 画面表示に黒い部分が多くなると自動的に画面の明るさを下げ、コントラストを向上させます。 ご参考 ・ ・ DV MODE「ムービー」、「ゲーム」、「フォト」が選択されるとカラー調節のプリセットは「N(NATIVE)」になります。DV MODE「DYNAMIC」が選択されているとECO MODE、オートブライトネスはオフとなり変更できません。 ・ カラー調節のプリセットがL/B、D(DICOM SIM.)、PROGRAMMABLE に設定されている場合は、DV MODE はスタンダードとなり変更できません。 ・ 「USB機能」を「90W」に設定した場合、スタンダードとなり変更できません。

■ 🖃 画面調節

画面調節	
VIDEO LEVEL (HDMI 入力のみ)	NORMAL: コンピューター用の設定です。入力信号の 0 ~ 255 階調をすべて表示します。 EXPAND: AV 機器用の設定です。入力信号の 16 ~ 235 階調を 0 ~ 255 階調に拡張して 表示します。
OVER SCAN (HDMI 入力のみ)	画像表示エリアを選択します。 オン:入力信号の約 95% を表示します。 オフ:入力信号のほぼ 100% を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出ることが あります。
画面サイズ	自動的に表示画面を拡大する機能です。入力信号が推奨解像度ではない場合に機能します。 フル: 設定されている画面を全画面に表示します。 アスペクト:縦横寸法比率を変えずに画面を拡大します。 ご参考
	 一部の解像度では画面全体には拡大できません。 入力信号により、表示画面が縦または横方向に十分に拡大されないことがあります。
RESPONSE IMPROVE	液晶の中間調応答速度が向上します。動画表示時における映像のブレを低減させることができ ます。
UNIFORMITY	スクリーンの輝度ムラ、色ムラが改善されますが、コントラストが低下する場合があります。
SHARPNESS	調節バーが表示されます。お好みに応じて、文字や画像のキレを調節することができます。 く > キーでソフト / シャープを調節してください。

■□ カラー調節

カラー調節			
1、2、3、4、5	お好みに応じて設定できる色合いが用意されています。 色調節: 「1」「2」「3」「4」「5」の各設定値は、「RED」:赤、「GREEN」:緑、 「BLUE」:青の各色について、色の割合を調節できます。		
	ご参考		
	 ・ 色調節した場合は、色温度の表示が「USER」になります。 ・ ECO/RESET キーをタッチした後、INPUT/SELECTキーをタッチすると、出荷時の設定値に戻すことができます。 		
	 「4」(SRGB (6500K))は巴丹現国际規格SRGBに対応した巴で表現します。 		
N (NATIVE)	液晶バネル本米の色合いで表示します(RGB の値は調節できません)。		
L/B	画面から発光されるブルーライトを低減します(RGB の値は調節できません)。		
	ご参考		
	 INPUT/SELECT キーを3 秒以上タッチするとブルーライト低減モードに切り替わります。 ・ ・ ・		
	色合いを変更する場合は MENU/EXIT キーをタッチしてOSD画面を表示し、「カラー調節」 から変更します。		
	・ 「L/B」を選択している場合、「コントラスト」と「DV MODE」は設定できません。		
D (DICOM SIM.)	白色の色温度とガンマは、DICOM 簡易表示に近い設定となります(RGB の値は調節できません)。		
	ご注意		
	実際の診断には使用しないでください。		
P (PROGRAMMABLE)	専用のソフトウェアを用いて設定したグレースケールが有効になります。 *本製品では、ご利用になれません。		



ツール	
音量	スピーカー (EA272Uのみ) やヘッドフォンからの音量を調節します。ECO/RESET キーをタッ チすると、ミュート (消音) 状態になります。もう一度 ECO/RESET キーをタッチすると、ミュー ト (消音) 状態は OFF になります。
VIDEO DETECT	 コンピューターと接続している場合に、入力信号があるコネクターを自動的に選択する機能です。 選択されているコネクターは OSD 画面のインフォメーションで確認できます。 FIRST: 現在表示しているコネクターのビデオ信号がなくなってしまったときに他のコネクターからビデオ信号を入力している場合は、入力信号があるコネクターへ自動的に切り替えます。 NONE: 自動入力選択機能は作動しません。
DP OUT MULTISTREAM	複数のディスプレイを DisplayPort ケーブルでマルチ接続(数珠つなぎ)した際に設定します。 AUTO: コンピューターの設定により自動的にシングルストリームもしくはマルチストリー ムを設定します。 マルチストリーム設定の場合、マルチ接続(数珠つなぎ)した各ディスプレイに個 別の画像を表示します。 CLONE: シングルストリームを設定します。マルチ接続(数珠つなぎ)した各ディスプレイ に同じ画像を表示します。
	 ・ 画像が表示されない場合は「複数台のディスプレイをマルチ接続する場合」(35ページ) を参照ください。 ・ マルチストリームの使用には、マルチストリーム対応のビデオカードが必要です。マルチストリ ーム使用の際の制限については販売店にお問い合わせください。
オフタイマー	本機の電源を入れたあと、設定された時間になると電源が自動的に切れるようにする機能です。 く> キーをタッチして1時間~24時間まで、1時間ごとの設定が可能です。電源を切り忘れ ても自動的に切れるため、電力の削減に有効です。
POWER SAVE TIMER	パワーマネジメント機能が2時間継続すると、電源が自動的に切れるようにする機能です。
LED ブライトネス	調節バー(0.0% ~ 100.0%)が表示されます。 <> キーをタッチして、電源ランプの照明を お好みの明るさに調節してください。
DDC/CI	DDC/CI 機能をオン/オフします。 オフを選択した場合は、NaViSet Administrator 2 を使用して、コンピューターから本機を操 作することができません。
USB SETTING	USB Type-C (アップストリーム) 端子の USB 最大転送速度を設定します。 USB2.0:最大転送速度は 480Mbps で、USB・映像とも安定な信号伝送に適した設定です。 USB3.2:最大転送速度は 5Gbps で、USB データの高速通信用設定です。
	 事前に本機に接続したUSB 機器を停止させてください。一部のUSB 機器では、この操作をおこなわないと機器の破損やデータの消失の原因になる場合があります。 マルチ接続では、各種設定(USB SETTING、DP VER、BIT RATE)またはコンピューターにより、高い垂直走査周波数や高解像度の表示に制限がかかることがあります。

ツール			
USB 機能	USB ダウンストリームへの電源供給、USB-C からの信号入力、USB 外部通信の設定ができます。 AUTO: 本機の電源のオン/オフや接続しているコンピューターの状態に連動します。 オン: 本機の状態や接続しているコンピューターの状態に関係なく動作します。 90 W: 本機の状態や接続しているコンピューターの状態に関係なく動作します。 USB Type-C (アップストリーム)端子の電源供給は 90W になります。 ご参考 ・ USB Type-C (ダウンストリーム)端子の電源供給が 5V/0.9A に制限されます。 ・ スピーカーは消音になります。(EA272Uのみ) ・ ブライトネスの調節値が最大 50% に制限されます。 ・ 「DV MODE」が「スタンダード」に設定され変更できません。		
	オフ : 接続している USB 機器は動作しません。		
	 ご参考 事前に本機に接続したUSB 機器を停止させてください。一部のUSB 機器の場合、機器の破損やデータの消失の原因になる場合があります。 接続しているUSB 機器により消費電力は変わります。 USB-Cケーブルが本機に接続されていて最初に電源を入れた時、オールリセットをかけた後または「USB 機能」が「オフ」になっている場合に電源を入れなおすと、USB 機能メッセージが表示されます。「USB 機能」を「オフ」以外に設定してください。 		
USB LAN	LAN 端子をオン / オフします。 LAN 端子を使用する場合は「オン」にしてください。LAN ケーブルの接続 (34 ページ) を 参照ください。		
USB SELECTION	現在表示中の入力信号コネクターに、USB アップストリーム端子 (USB Type-B 端子または USB Type-C 端子)を関連付けます。ここで関連付けた USB アップストリーム端子は、本機 の電源投入時、入力信号コネクターの選択時などに自動的に有効になります。どちらか 1 つの USB アップストリーム端子のみにコンピューターが接続されている場合は、USB SLECTION の設定に関係なく、接続されている端子が有効になります。		
	 ご参考 USB アップストリームを切り替える場合には、事前に本機に接続したUSB 機器を停止させてください。一部のUSB 機器の場合、この操作をおこなわないと機器の破損やデータの消失の原因になる場合があります。 		
オールリセット	言語切替 (LANGUAGE)、ホットキー、OSD ロック以外は、「オールリセット」で出荷時の状態に戻すことができます。画面の表示にしたがって操作してください。		

各種設定メニュー

■ 二 メニューツール

メニューツール					
言語切替(LANGUAGE)	OSD 画面の表示言語のリストが表示されます。 く > キーをタッチして、言語を切り替えてください。				
OSD オートオフ	OSD 画面を表示させたあと、設定された時間になると OSD 画面が自動的に消えるようにする 機能です。 〈 〉 キーをタッチして、時間を設定してください。時間は、5 秒単位で 10 秒~ 120 秒の範 囲から選択できます。				
OSD ロック	誤って調節してしまうことを防ぐための OSD 画面操作禁止機能です。OSD ロック中でもブラ イトネスとコントラストと音量は調節可能です。 OSD ロックを設定する MENU/EXIT キーをタッチして、OSD 画面を表示ます。メニューツールの OSD ロックが 選択された状態で、INPUT/SELECT キーをタッチしながら > キーをタッチしてください。 OSD ロックを解除する MENU/EXIT キーをタッチして、OSD ロック状態画面を表示します。OSD 画面を表示し た状態で INPUT/SELECT キーをタッチしながら く キーをタッチしてください。				
OSD 方向	OSD 画面の方向を設定します。 表示される画面の向きに応じて、適切な OSD 方向を選打 ご 参 老	尺してください。			
	・ キーガイドを表示するには、KEY GUIDEをオンにし	てください。			
	方向 OSD メニュー表示物	態 Key guide			
		<u>> v ^</u>			
	90	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、			
	180	·····································			
	270				

メニューツール	
ホットキー	OSD 画面が表示されていない場合でも ECO MODE の切り替えや、ブライトネスまたは音量を 調節できます。 オン:OSD 画面が表示されていない状態で、以下の機能を使用できます。 ・ ECO/RESET キーをタッチすると、ECO MODE を切り替えできます。 ・ ▲キーをタッチするとブライトネス調節画面を表示します。 ・ ▲キーをタッチすると音量調節画面を表示します。 ・ →キーをタッチすると USB SELECTION 画面を表示します。 オフ:OSD 画面が表示されていない状態で ECO/RESET キー、>キー、▲キーを 操作しても、機能しません。MENU/EXIT キーをタッチして、OSD 画面を表示してか ら各機能を調節してください。
入力表示	 オン:入力信号が切り替わったときに、画面右下に入力信号の情報を表示します。 ご参考 初めて電源を入れた時にコンプライアンスマークを表示します。 電源オフにした状態で電源コードを抜き再接続した場合を除き、その後マークの表示はしません。入力信号を切り替えてもコンプライアンスマークは表示しません。 オフ:入力信号が切り替わっても、画面右下に入力信号の情報が表示されません。 ご参考 電源を入れた時にコンプライアンスマークを表示しません。
SENSOR INFORMATION	人感センサーが離席を感知したときに、パワーセーブモードへの移行を示すメニューを表示する /表示しないを設定します。 オン:画面右下にメニューを表示します。 オフ:メニューを表示しません。
KEY GUIDE	画面上にキーの名称を表示する/表示しないを設定します。 オン:画面上にキーの名称を表示します。 オフ:画面上にキーの名称を表示しません。
CUSTOMIZE SETTING	現在の OSD メニューの全設定を記憶し、簡単に復元することができます。 現在の設定を記憶する MENU/EXIT キーをタッチして、OSD 画面を表示します。メニューツールの CUSTOMIZE SETTING を選択した状態で、INPUT/SELECT キーをタッチします。ECO/RESET キー をタッチすると現在の設定が記憶されます。 記憶した設定を復元する OSD 画面が表示されていないときに、MENU/EXIT キーを3秒以上押します。

■S ECO インフォメーション

ECO インフォメーション					
CO2削減量	電源オン時およびパワーマネージメント機能動作時の積算した省エネ効果を CO2 削減量(kg) で表示します。				
CO2排出量	本機による累積 CO ₂ 排出量を表示します。この値は計算によって求めた概算値であり、実測値 とは異なります。				
COST 削減量	電源オン時およびパワーマネージメント機能動作時の積算した省エネ効果を電気料金(差額)で 表示します。				
CARBON CONVERT SETTING	CO ₂ 削減量算出に使用する、CO ₂ - 電力量換算値を調節します。この値の初期値は OECD(経 済協力開発機構)2008 年 Edition を使用しています。				
CURRENCY SETTING	 電力料金表示の通貨単位を設定します。各記号は下記の国の通貨単位です。 \$:米国ドル kr: スウェーデンクローネ €:欧州ユーロ py б:ロシアルーブル £:英国ポンド ¥: 日本円 				
CURRENCY CONVERT SETTING	電気料金算出に使用する、電気料金 - 電力量換算値を調節します。 この値の各初期値は下記の値を使用しています。 米国ドル: \$0.11 OECD 2008年Edition スウェーデンクローネ: kr1.1 EUROSTAT 2008年Edition 欧州ユーロ: €0.19 OECD 2007年Edition ロシアルーブル: py 6 1.2 OECD 2008年Edition 英国ポンド: £0.13 OECD 2008年Edition 日本円: ¥20 OECD 2006年Edition				

■ 且 インフォメーション

インフォメーション	
表示モード	入力している信号の情報、MODEL と SERIAL NUMBER(製造番号)、USB Type-C(アップストリーム) 端子の動作状態を表示します。

USB LAN 機能

USB-LAN 変換機能により、コンピューターから本機 USB を経由し、安定かつ高速な通信ネットワークに接続します。 接続例



*USB-C ケーブルまたは USB Type-A-Type-B ケーブルいずれかを接続してください。

- ・ LAN ケーブル接続後、LAN 端子の LED が緑色に点灯しているかご確認ください。
- ・本機 OSD の 「USB 機能」 を 「AUTO」、「オン」、「90W」 のいずれかにし、「USB LAN」 を「オン」 にしてください。
- デバイスドライバーは OS の標準ドライバーが自動的に適用されます。使用するコンピューター、OSによってはドライバーの インストールが必要です。(43ページ)
- ・ 本機は 1000Mbps の通信に対応しています。1000Mbps での通信には適切なLAN ケーブルをご使用ください。
- USB-LAN 変換機能はパワーセーブモード時も動作し、「USB 機能」の設定により電源オフ時でも動作します。
- ・ OSD の設定と電源の状態による USB の動作は以下の通りです。

	USB 機能	AUTO			オン/90W		オフ			
050	USB LAN		オン			オン			無効	
雨近	電源状態	オン	省電力	オフ	オン	省電力	オフ	オン	省電力	オフ
电源	電源ランプ	青色	橙色	消灯	青色	橙色	消灯	青色	橙色	消灯
	電源供給									
USB	HUB	有	効	オフ	有	効	有効	無	効	オフ
	LAN									

省電力 : パワーセーブモード

DP OUT MULTISTREAM 機能

DisplayPort のデイジーチェーン接続により複数台のディスプレイをマルチ接続(数珠つなぎ)することができます。 マルチストリームを使用する場合は、マルチ接続しているすべてのディスプレイで DP OUT MULTISTREAM を「AUTO」 に設定してください(29ページ)。設定を変更する際はコンピューターに接続しているディスプレイの設定を最後にします。 画面が表示されない場合はコンピューターに接続しているディスプレイの電源を入れ直してください。

OSD (29 ページ)	設定
DP OUT MULTISTREAM CLONE [出荷設定時]	DisplayPort 1.1a/1.2/1.4、シングルストリーム
DP OUT MULTISTREAM AUTO	DisplayPort 1.2/1.4、シングルストリームまたはマルチストリーム

コンピューターの OS の設定によっては拡張表示されない場合があります。OS のディスプレイ設定をご確認ください。

ご参考

- ・ ディスプレイをマルチ接続 (数珠つなぎ) する場合は DipslayPort 規格に準拠したケーブルをご使用ください。
- ・ マルチ接続(数珠つなぎ)する場合は同じモデルのディスプレイを接続することをお奨めします。
- マルチストリームの使用にはマルチストリーム対応のビデオカードが必要です。
 マルチストリーム使用の際の制限については販売店にお問い合わせください。
- DisplayPort または USB Type-C を入力に選択した場合、DisplayPort 出力端子から映像信号を出力します。HDMI を 入力に選択した場合、DisplayPort 出力端子から映像信号は出力しません。

マルチ接続(数珠つなぎ)する際の最大接続台数

	BIT RATE	コンピューターとの接続	ディスプレイ間の接続	最大接続台数(本機を含む)		
マルチストリーム	HBR3(出荷設定時)	DisplayPort	DisplayPort			
	HBR2	または		2 台 (HDCP コンテンツ含む)		
	HBR	USB Type-C				

ご参考

- マルチ接続では、各種設定 (USB SETTING、DP VER、BIT RATE) またはコンピューターにより、高い垂直走査周波数や 高解像度の表示に制限がかかることがあります。
- マルチ接続 (数珠つなぎ) できるディスプレイの接続台数はビデオカードにより異なります。
- 「DP OUT MULTISTREAM」の「AUTO」を設定する際は「VIDEO DETECT」を「NONE」に設定してください。電源オフ 時やパワーセーブ時からの復帰が安定します。
- マルチストリーム設定でコンピューターとの接続がUSB-Cの場合、USB デバイスが SuperSpeed に準拠していても HighSpeed (USB 2.0)として接続されることがあります。 USB 2.0 への切り替えでは、USB ハブが一時的に切断されます。



ご参考

- 画面に何も表示されない場合は、「画面が不安定もしくは表示されない場合」の手順で DP VER を 「1.1」に設定してください。(36ページ)
- 「DP OUT MULTISTREAM」の設定を変更すると一時的に USB ハブの接続が切れます。
 設定を変更する際は接続している USB 機器を本機から取り外してください。
 複数のディスプレイで表示している場合は、「DP OUT MULTISTREAM」を参照ください。(29ページ)

■画面が不安定もしくは表示されない場合

以下の手順で設定します。DisplayPort または USB Type-C、それぞれの入力で設定してください。

- 1. コンピューターの電源を切ってください。
- 2. MENU/EXIT キーをタッチし、「NO SIGNAL」の OSD 画面を表示してください。
- 3. [NO SIGNAL]の表示中に"

 へ"キーをタッチし、VIDEO INPUT を表示して

 ください。(右図)
- 4. "<"または"</"キーをタッチし、DP VER.を1.1 に設定してください。
- 5. MENU/EXIT キーをタッチし、OSD 画面を消してください。
- 6. コンピューターを再起動してください。

ご参考

- マルチストリームまたはシングルストリームの使用にはこれらに対応したビデオカードが必要です。
- ・ 使用の際の制限については販売店にお問い合わせください。
- ・ ディスプレイをマルチ接続 (数珠つなぎ) する場合は DipslayPort 規格に準拠したケーブルをご使用ください。



人感センサー機能

本機の前に人がいないときに、消費電力を削減する機能です。本機の前面のセンサー(13ページ)により、在席・離席を 感知します。人感センサー作動時のパワーセーブモードには、以下の2種類の設定があります。

モード	HUMAN SENSING の設定	不在時の状態
LIGHT	1	画面の明るさを0%にします。
DEEP	2	パワーセーブモードに移行します。

下図は人感センサーの動作イメージを図にしたものです。

離席を感知して、パワーセーブモードに移行するまで

①人感センサーが離席を感知すると(A)、「HUMAN SENSING」>「START TIME」(27ページ)で設定した時間待機します。 ②待機中に在席が感知できなかった場合、パワーセーブモードへの移行を示すメニュー(B)が一定時間表示されます。



ご参考

メニュー画面の表示は、「SENSOR INFORMATION」(32ページ) で設定できます。

③メニューが表示されてから一定時間が経過すると、「LIGHT」モード選択時は画面が徐々に暗くなり最後に明るさが 0% になります。「DEEP」モード選択時はパワーセーブモードに移行します(匠)。



在席を感知して、元の状態に復帰するまで

①在席を感知すると(回)、パワーセーブモードから通常モードへの移行を開始します(回→E)。 ②通常モードへの移行が完了すると、「LIGHT」モード選択時は在席を感知してから画面が徐々に明るくなり、通常モードへの 移行が完了した時に元の明るさに戻ります。「DEEP」モード選択時は画面が元の明るさに戻ります(E)



オートブライトネス機能

「オートブライトネス」は、本機内蔵の照度センサーが室内の明るさに応じて表示画面の明るさを自動的に調節する機能です。 調節範囲は以下の手順で設定してください。

手順① 下の OSD 画面で「オン」を選択します。



手順② 室内が明るい状態で「ブライトネス」をお好みの値に調節します。



手順③ 室内が暗い状態で「ブライトネス」をお好みの値に調節します。



上記手順①~③の設定が完了すると、室内の明るさに応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。下図はその動作イメージです。



故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。 アフターサービスについては 49 ページをご覧ください。

表示されないときは ...

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅してい る場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理受付/ア フターサービス窓口」にご相談ください。	P.49
	電源ランプが点灯しない	電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	P.13
	場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.19
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認し てください。	
		電源コードをコンピューター本体のコンセントに接続している場合 は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コン ピューターの電源が入っているか確認してください。	
		「LED ブライトネス」調節機能で輝度を下げていると電源ランプが点灯しない場合がありますので、確認してください。	P.29
		「POWER SAVE TIMER」が作動している可能性があります。 POWER キーをタッチしてください。	P.29
	電源ランプが青色に点灯	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.25
	している場合	● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売 店または「修理受付/アフターサービス窓口」にご相談ください。	P.49
		 ● 正常な状態でOSD 画面が表示されれば故障ではありません。 MENU/EXIT キーをタッチして、メニューを表示させてください。 その後、「ブライトネス」を調節してください。 	P.26
		● OSD 画面が正常に表示され、「ブライトネス」を調節してもコン ピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接 続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認して ください。	P.15, P.45
		 ● 人感センサーが、人がいないと認識している可能性があります。 人感センサーの感度を調節してください。 	P.27
	電源ランプが橙色に点灯 している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キー ボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P.23
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.15
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認し てください。	
		信号入力がないコネクターが選択されているか、「VIDEO DETECT」が「NONE」になっている可能性があります。INPUT/ SELECTキーをタッチして入力コネクターを切り替えるか、「VIDEO DETECT」を「FIRST」に切り替えてください。	P.13, P.29
		USB-Cケーブルを USB Type-C(アップストリーム)端子に接続し てください。USB Type-C(ダウンストリーム)端子に USB-C ケー ブルを接続しても画面を表示しません。(EA272U のみ)	P.15,

画面が表示しなく なった	正常に表示されていた画 面が、暗くなったり、ちら つくようになったり、表 示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理受付/ アフターサービス窓口」にご相談ください。	P.49
	DisplayPort または USB-C ケーブルで 接続し、解像度 3840 × 2160 (EA272U), 2560 × 1440 (EA272Q) の 設定で表示している場合	画面にノイズが生じる、画面が不安定もしくは表示されない場合は 「画面が不安定もしくは表示されない場合」を参照し、設定を変更し てください。	

※ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは ...

症状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点 (点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの 特性によるもので、故障ではありません。	
	ブライトネスを下げてください。	P.26
画面に薄い縦縞の陰が見える	UNIFORMITYをオンに設定してください。	
	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの 特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきや モアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネ ルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	3840 × 2160 (EA272U)、2560 × 1440 (EA272Q)以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
表示エリア外の非表示部分に 「残像現象」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が 生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.9
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P.46
画面の表示状態が変わっていく	「オートブライトネス」が「オン」に設定されている場合、室内の明るさにより表 示画面の明るさが自動的に調節されます。	P.26
	「DV MODE」が「DYNAMIC」に設定されている場合、表示画面の内容により表示画面の明るさが自動的に調節されます。画面の明るさを固定する場合は、「DV MODE」を「スタンダード」に設定してください。	P.27
	液晶パネルは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周 囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パ ネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が 薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示したり、高速に微動や点滅が繰り返される映像を表示 させないでください。動画等を表示することで、徐々に軽減されることがありま す。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	P.9

表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.25
	● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店 または「修理受付/アフターサービス窓口」にご相談ください。	P.49
	● 正常な状態でOSD 画面が表示されれば故障ではありません。「カラー調節」を選択しお好みで色の割合を調節していただくか、またはECO/RESET キーで工場設定値に戻してください。	P.28
	● OSD 画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.15, P.45, P.28
表示がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.25
	● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店 または「修理受付/アフターサービス窓口」にご相談ください。	P.49
	● 正常な状態でOSD 画面が表示されれば故障ではありません。HDMI 接続 の場合、「VIDEO LEVEL」または「OVER SCAN」の設定を変更してくださ い。	P.28
画面がざらつく(上記以外の場合)、 または映像が一瞬途切れる	分配機を使用している場合は、分配器を中継させず、コンピューターと直に接続してください。	P.15
	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.25
	● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.49
		P.15,
	に表示されてもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コン ピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を 確認してください。	P.45
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。	P.15
人がいないのに人感センサー機能が 動作しない	OSD の「HUMAN SENSING」の人型のアイコンが検出範囲の中にある場合、 離席と判断されません。OSD にて人感センサーの感度を調節してください。	P.27
	人感センサーは赤外線の反射量を検知しております。センサーの前に障害物が あったり、赤外線を放出する機器が近くにある場合正しく動作しないことがあ ります。	
画面表示が暗い	OSDの「HUMAN SENSING」の人型のアイコンが検出範囲の右側にある場合、ディスプレイの前に座っていても離席と判断されてパワーセーブモードになり輝度が下がったり、非表示となります。OSD にて人感センサーの感度を調節してください。 「USB機能」を「90W」以外の設定にしてください。	P.27
画面にノイズが生じる、画面が 不安定もしくは表示されない	DisplayPort または USB-C ケーブルで接続し、解像度 3840 × 2160 (EA272U)、2560 × 1440 (EA272Q) の設定で表示している場合は、「画 面が不安定もしくは表示されない場合」を参照し、設定を変更してください。	P.36
	HDMI入力を使用し、解像度 3840 x 2160 にて表示した際に映像が 途切れる場合は、HighSpeed 対応のHDMIケーブルをご使用ください。 (EA272Uのみ)	

案内画面/注意画面が表示されたら…

症状	原因	対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示 された! ^{※1}	信号ケーブルが本機またはコンピュー ターのコネクターに正しく接続されて いない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューター のコネクターに正しく接続してください。	P.15
	信号ケーブルが断線している可能性が あります。	信号ケーブルが断線していないか確認して ください。	
O NO SIGNAL	コンピューターの電源が切れている可 能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認 してください。	
	コンピューターのパワーマネージメン ト機能が作動している可能性がありま す。	マウスを動かすかキーボードのキーを押し てください。	P.23
	「VIDEO DETECT」が作動していない 可能性があります。	NPUT/SELECT キーで入力を選択し、 「VIDEO DETECT」を「NONE」に設定し てください。	P.13, P.29
画面に「OUT OF RANGE」が 表示された! ^{*2}	本機に適切な信号が入力されていない 可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度 を変更してください。	P.45
VIDEO INPUT	本機の対応する解像度よりも高い解像 度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度 を変更してください。	P.45

※1コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがあり ますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※ 2コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症状	原因	対 処
解像度や色数の変更ができな い/固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがま れにあります。	本機とコンピューターの電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーが OS に正 しく認識されていない可能性がありま す。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてく ださい。再インストールに関しては、コンピューター のマニュアルをご参照いただくか、コンピューターの サポート機関にお問い合わせください。
接続している USB 対応周辺 機器が認識されない。 正常に動作しない。	USB 対応周辺機器のデバイスドライ バーが正常に組み込まれていない。 (ドライバーインストールが必要なUSB 対応周辺機器のみ)	USB 対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込ん でください。デバイスマネージャーで「不明なデバイ ス」と表示される場合は、「不明なデバイス」をデバイ スマネージャー上で削除し、USB 対応周辺機器のデ バイスドライバーを組み込んでください。
	USB 機能が「AUTO」、「オン」、「90W」 のいずれかに設定され、USB アップス トリーム端子 (USB Type-B 端子また は USB Type-C 端子) とコンピュー ターが接続されていない。 コンピューターの電源が入っていない。	USB 機能が「AUTO」、「オン」、「90W」のいずれかに 設定されている場合、本機の USB ダウンストリーム 端子 (USB Type-A 端子)は、アップストリーム端子 とコンピューターを接続し、コンピューターの電源が 入っている場合に動作します。 USB アップストリーム端子とコンピュータを接続 し、コンピューターの電源を入れてください。
	USB 機能がオフになっている。	USB 機能の設定を「AUTO」、「オン」、「90W」のい ずれかにしてください。
複数のUSB 対応周辺機器を接続すると、USB 対応周辺機器が 正常に動作しない。	USB 対応周辺機器が同時に複数台接続することに対応していない。	1 つ 1 つのUSB 対応周辺機器を単独で動作させて ください。
USB ハブを多段接続(複数台 の連結接続)した後に、USB 対応周辺機器を接続すると、 USB 対応周辺機器が正常に動 作しない。	USB 対応周辺機器が、USBハブの多 段接続に対応していない。	USB 対応周辺機器をコンピューターに近いUSB ハブに接続してください。
LANで通信できない	 1000Mbps で通信する際は、適切な USB-C ケーブルでコンピューターを LAN 端子の LED が点灯しているか 「USB 機能」を「AUTO」、「オン」、「90 ださい。 使用するコンピューター、OSによって ライバーは Realtek 社 web サイト OS のファイルをダウンロードしてく 	LAN ケーブルを使用してください。 接続していることを確認してください。 確認してください。 DW]のいずれかにし、「USB LAN」を「オン」にしてく こはドライバーのインストールが必要です。最新のド 'Realtek USB GbE Family controller" から該当 ださい。

USB Type-C 機器を使用時	画面に「USB-Cケーブルを外してくだ さい」画面が出た WARNING USB-Cケーブルを外してください USB-Cの種類ラインに 繋幣を機能しました	異常な電圧または電流が検出された場合に表示されます。USB-C ケーブルを速やかに抜いてください。
	画面に何も映らない	接続したUSB Type-C 機器がDisplayPort Alt Mode on USB Type-C 規格に対応しているか確認 してください。
		USB-C ケーブルが SuperSpeed USB に対応して いるか確認してください。
		「USB 機能」が「AUTO」、「オン」、「90W」のいずれか に設定されているか確認してください。
		「USB 機能」の設定を確認してください。 3840 × 2160 (60Hz) の場合は「USB SETTING」の「USB2.0」をお試しください。
	充電が始まらない、充電が不安定	接続したUSB Type-C 機器が USB Power Delivery 規格に対応しているか確認してください。
		USB-C ケーブルが USB Power Delivery の認証 を取得しているか確認してください。
		「USB 機能」が「AUTO」、「オン」、「90W」のいずれか に設定されているか確認してください。
		USB Type-C (アップストリーム) 端子の過電圧、過電 流の可能性があります。USB-C ケーブルを取り外し てください。
		「USB機能」を「90W」に設定した場合、USB Type-C (ダウンストリーム) 端子の電源供給は 5V/0.9A に制限されます。
スピーカーから音が出ない! (EA272Uのみ)	ヘッドホンがつながっている場合、スピー カーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。
	音量が最小になっている。またはミュート (消音)機能が働いている可能性があり ます。	OSD メニューの「音量」で音量を調節、または ECO/ RESET キーをタッチしてミュートをオフにしてくださ い。(29ページ)
	コンピューターによっては音声を出力す る場合、コンピューター本体の設定変更 が必要な場合があります。	お使いのコンピューターの取扱説明書をご確認ください。
	接続している機器によっては音声出力非 対応の場合があります。	音声出力対応の機械を接続してください。
	スピーカーからの音声が消音になってい る可能性があります。	「USB機能」を「AUTO」または「オン」のいずれかに設定してください。



■対応信号タイミング

下表の映像信号タイミングを自動判別します。音声はコンピューター本体の設定変更が必要となる場合があります。詳しくは お使いのコンピューターの取扱説明書をご確認ください。

EA272Q

解像度		度	五古主本田沈粉	供 书
水平		垂直	王旦上且同叔奴	加ち
640	Х	480	60/67/72/75Hz	
720	×	400	70Hz	
720	Х	480	60Hz	
720	Х	576	50Hz	
800	Х	600	56/60/72/75Hz	
1024	×	768	60/70/75Hz	
1280	Х	720	50/60Hz	
1280	×	960	60/75Hz	
1280	×	1024	60/75Hz	
1440	Х	900	60Hz	
1600	Х	1200	60Hz	
1680	Х	1050	60Hz	
1920	Х	1080	50/60Hz	
2560	Х	1440	60Hz	推奨信号タイミング
			インターレース信号	こは対応していません。

EA272	20			
解像度			垂直 击 查 国 油 数	備老
水平		垂直	平巨化且内放数	備ち
640	Х	480	60/67/72/75Hz	
720	×	400	70Hz	
720	×	480	60Hz	
720	×	576	50Hz	
800	×	600	50/60/72/75Hz	
1024	×	768	60/70/75Hz	
1280	×	720	50/60Hz	
1280	×	960	60/75Hz	
1280	×	1024	60/75Hz	
1440	Х	900	60Hz	
1600	×	1200	60Hz	
1680	×	1050	60Hz	
1920	×	1080	50/60Hz	
3840	×	2160	30Hz	
3840	×	2160	60Hz	推奨信号タイミング

インターレース信号には対応していません。

ご参考

入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。 ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

■Plug&Play 機能

VESA の DDC (Display Data Channel) 2B 規格または DisplayPort 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

詳しくはコンピューターの取扱説明書を参照ください。

■拡大・スムージングファイン機能

3840 × 2160 (EA272U)、2560 × 1440 (EA272Q) より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。 ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

■製品仕様

型名		LCD-EA272Q, LCD-EA272Q-BK	LCD-EA272U, LCD-EA272U-BK	
液晶表示素子		27型 (対角68.47 cm) TFT 液晶		
最大解像度		2560×1440	3840×2160	
最大表示色		約 1677 万色	約 10.7 億色	
画素ピッチ		水平 0.233 mm × 垂直 0.233 mm	水平 0.155 mm × 垂直 0.155 mm	
輝度(標準値)*1		350 cd/m ²	350 cd/m ²	
コントラスト比(標準)	準値)**1	1000:1(7000:1, DV MODE [DYNAMIC]使用時)	1200:1(10000:1, DV MODE [DYNAMIC]使用時)	
応答速度(標準値)		14 ms (G to G) RESPONSE IMPROVE「オフ」使用時 6 ms (G to G) RESPONSE IMPROVE「オン」使用時		
視野角		左右 178°/上下 178°(コントラスト比 ≧10)		
表示画面サイズ		横 596.7 mm ×縦 335.7 mm		
有効表示画素比率	**4 ***	99.9993%以上	99.9997%以上	
入力端子	HDMI	HDMI 1 系統 (HDCP 1.4/2.3) 映像:Digital RGB, Digital YCbCr (4:4:4/4:2:2) 音声:PCM 32, 44.1, 48 KHz (16/20/24bit), 2ch		
	DisplayPort	DisplayPort Ver. 1.4 準拠 1 系統 (HDCP 1.3/2.3) 映像:Digital RGB 音声:PCM 32, 44.1, 48 KHz (16/20/24bit), 2ch		
USB Type-C (アップストリーム)		USB Type-C 1 系統 (DP alt. mode, 電源供給) 映像:Digital RGB, DisplayPort Ver. 1.4 準拠 (HDCP 1.3/2.3) 音声:PCM 32, 44.1, 48 KHz (16/20/24bit), 2ch USB データ:アップストリーム USB3.2 Gen1 USB Power delivery:20 V - 3.25 A (最大) USB 機能「オン」または「AUTO」使用時/4.5 A (最大) USB 機能「90W」使用時*2		
出力端子 DisplayPort (MST/SST)		DisplayPort Ver.1.4 準拠 1 系統 (HDCP 1.3/2.3) 映像:Digital RGB (入力端子:Display Port/USB Type-C) 音声:PCM 32, 44.1, 48 KHz (16/20/24bit), 2ch		
ヘッドフォン		Ø3.5 mm ミニステレオジャック 1 系統		
USB端子 アップストリーム		Type-B 1 系統 (USB3.2 Gen1) Type-C 1 系統 (DP alt. mode, USB3.2 Gen1, USB Power delivery: 20 V - 4.5 A (最大) USB 機能[90W]使用時)**2		
ダウンストリーム		Type-A 2 系統 (USB3.2 Gen1), 5 V - 0.9 A (最大)	Type-A 3 系統 (USB3.2 Gen1), 5 V - 0.9 A (最大) Type-C 1 系統 (USB3.2 Gen1), 5 V - 3.0 A (最大)	
LAN 端子 (USB-	LAN 変換)	10BASE-T/100BASE-TX/1000 BASE-T		
スピーカー出力		_	1W+1W	
電源*5		AC 100 - 240 V, 1.80 - 0.80 A, 50/60 Hz	AC 100 - 240 V, 1.80 - 0.80 A, 50/60 Hz	
使用温度条件		5~35 °C		
使用湿度条件		20~80%(結露なきこと)		
消費電力 (通常動作時/スタンバイモード時)		143 W (27 W/0.5 W)	155 W (31 W/0.5 W)	
外形寸法**3		スタンドあり 幅約 611.8 mm × 奥行約 250.0 mm × 高さ約 378.0 mm-528.0 mm		
		スタンドなし 幅約 611.8 mm × 奥行約 67.2 mm × 高さ約 361.9 mm		
スタンド可動域 高さ		150 mm (横型設置時) 23.5 mm (縦型使用時)		
チルト角度*6/ピボット角 度/スイーベル角度		上 35 ° 下 5 度/±90 °/±170 °		
質量		約 5.8 kg (本体のみ)約 9.2 kg (同梱スタンド取り付け時)		
梱包時寸法				
梱包時質量		約 12.0 kg		

※1 輝度およびコントラストは、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

※2 「USB 機能」を「90W」に設定した場合、USB Type-C (アップストリーム)端子を主な電力供給先にするため、いくつかの機能制限があります。 詳細は 30 ページを参照ください。

※3 突起部は除きます。

※4 本製品の液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素などの無効な画素が存在する場合があります。「有効画素の割合」とは、液晶パネルの全画素数のうち、それらの無効な画素を除いた有効な画素の割合を表しています。無効な画素は液晶パネルの故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※5 AC200 V (50/60Hz) のコンセントでお使いになる場合は、専用の電源コードが必要です。販売店にお問い合わせください。

※6 本機に市販のアームを取り付けた場合を含みます。

■外形図

数値はおよその値です。

[EA272Q]

(単位:mm)









• VESA 規格の金具の取り付けには、M4 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ+6~10mm のものを使用してください。



- ・ 取り付け金具は、本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
- ・ 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所(コンクリートの壁や柱など)に取り付けてください。
- インパクトドライバーを使用しないでください。
- 後面の取り付け金具用ネジ穴以外のネジ穴は設置に使えません。

取り付けの際は、製品仕様のチルト角度 (46 ページ)を確認してください。 あわせてホームページの情報もご確認ください。 「スリムベゼル採用ディスプレイの設置について」 https://jpn.nec.com/products/ds/display/business_standard/notice.html#anc-arm



アフターサービスについて

■本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報)

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクル にご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「製品リサイクルのご案内」について

https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html

■保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談く ださい。

個人ユーザー様の窓口	法人ユーザー様の窓口
121 コンタクトセンター	NEC ビジネス PC 修理受付センター
フリーコール : 0120-977-121	フリーコール : 0120-00-8283
携帯電話、PHS などフリーコールをご利用できないお客様は こちらの番号へおかけください。 03-6670-6000(通話料お客様負担)	携帯電話をご利用のお客様は こちらの番号へおかけください。 0570-064-211(通話料お客様負担)
最新の情報については、 https://support.nec-lavie.jp/121cc/ をご覧ください。	受付時間:月~金 9:00~18:00 休日は、土曜・日曜・祝日および年末年始等の 所定休日とさせていただきますので、ご了承願います。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。			
●お名前	●製造番号(本機背面のラベルに記載)		
●ご住所(付近の目標など)	●故障の症状、状況など(できるだけ詳しく)		
●電話番号	●購入年月日または使用年数		
●品 名:マルチシンク液晶ディスプレイ			
●型 名: LCD-EA272Q, LCD-EA272Q-BK, LCD-EA	A272U, LCD-EA272U-BK		